

企画展

とまこまい考古コレクション

— 縄文からトーチカまで —

苫小牧市では昭和48(1973)年に苫小牧東部工業地帯埋蔵文化財分布調査班(昭和60年に苫小牧市埋蔵文化財調査センターと改称)が発足し、市内外の遺跡の分布調査、発掘調査、報告書制作を広く行ってきました。発掘調査の結果、膨大な資料が得られ、当館収蔵庫では100万点を超える土器、石器、骨角器、動物骨などを保管しています。

苫小牧は石狩低地帯の南端にあたり、道南や本州の文化圏と道央、道東の文化の交差する場所です。これまで苫小牧市内で行ってきた発掘調査の歴史と出土した遺物および調査風景の写真などを展示する本展では、縄文時代からアイヌ文化期、戦争遺跡を含めて多様な出土品から当時の交流のありかたや多様な文化を探ることで、考古学の奥深さを紹介します。



静川116遺跡 環壕発掘風景



静川22遺跡出土
骨角器



弁天貝塚出土
金属製品

〈関連事業〉

● 学芸員による展示解説会

担当学芸員が展示についてウラ話を交えながら解説します。(各回とも約30分)

4月27日(土) 10:00~

5月3日(金・祝) 10:00~

5月19日(日) 10:00~

料金: 無料

(ただし、当日有効の観覧券が必要となります)

申込: 不要(直接会場へお集まりください)

● まが玉をつくってみよう

やわらかい石をやすりで磨いてまが玉をつくります。

5月18日(土) 10:30~12:00

対象: 小学4年生以上(小学3年生以下は保護者同伴)

定員: 20名(先着順)

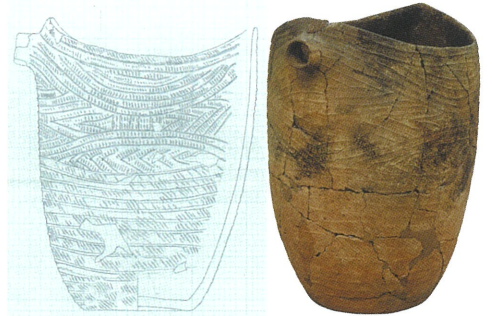
料金: 無料

申込: 4月22日(火)より

電話で受付



静川5遺跡 縄文時代早期土器



静川5遺跡 縄文時代早期注口土器



史跡静川116遺跡 環壕



静川119遺跡 炭焼窯

同時開催 (特集展示) 植物細事記 一身近な木々の一年を辿る— 4月27日(土)~6月23日(日)
(中庭展示) Vol.12 半谷 学「花降り~Flower Fall」 4月27日(土)~9月16日(月・祝)



アクセス

●バス 苫小牧駅南口より、のりば①から「24番」「30番」「札幌駅前行」「郊外線」のりば②から「01番」「21番」「22番」のりば③から「13番」「14番」に乗り、「出光カルチャーパーク」で下車(所要時間5分、料金210円) ※下車後徒歩約5分

●自家用車 国道276号(支笏湖通)と国道36号の交差点(「苫小牧信用金庫中野支店」かど)を港方向へ曲がり、交差点の次の信号を右折。出光カルチャーパーク内に無料駐車場があります。

ⓧ 緑線橋の架け替え工事に伴い通行止めとなります。国道276号をご利用の方はご注意ください。

Tomakomai City Museum
苫小牧市美術博物館

[愛称: あみゆー]

〒053-0011 苫小牧市末広町3丁目9番7号

TEL 0144-35-2550 FAX 0144-34-0408

http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutsukan

facebook http://www.facebook.com/tomakomai.museum

